

新基地建設反対名護共同センターニュース

大激戦！大接戦！追いつき追い越そう！ 伊礼候補の出発式に「オール沖縄」と市民300人

この美ら海に軍港は絶対造らせない

浦添市長選挙が1月31日告示され「オール沖縄」と市民団体が推薦する新人の伊礼ゆうき候補の出発式が、同市西海岸で300人の参加で行われました。「オール沖縄」の衆参両院議員と衆院予定候補はじめ山川豊見城市長、瑞慶覧南城市長、野国北谷町長や市民・女性団体など多彩な人々が伊礼候補を激励しました。

コロナ危機から市民の命とくらしを守る

伊礼候補は「私はこの美ら海を埋め立てて軍港を造ることは絶対に許しません。看護師の経験を生かしコロナ危機から市民の命とくらしを守ります」と争点を明快に示し、決意を表明しました。

全県・全国から宣伝、声掛けの大奮闘を！

当山勝利選对本部長は「大激戦、大接戦です。宣伝戦と携帯電話での声掛けを徹底し、期日前投票を促進するなど、最後まで支持を広げに追いつき、追い越しましょう」と訴えました。



伊礼ゆうき候補

感染拡大の中 工事強行する防衛局

県民は監視活動や浦添市長選支援へ

コロナ禍で沖縄県独自の緊急事態宣言が発出され、キャンプ・シュワブ内で米兵のクラスターが発生中にも関わらず防衛局は基地建設工事を強行しています。連日、生コン車など作業車1日約200台も入っています(写真=3日午前9時過ぎ)。「オール沖縄」はコロナ感染予防のため抗議活動を中止し、少人数で監視活動を続けています。これまで座り込みに参加していた県民の多くは、浦添市長選のゆうき候補の支援に駆けつけ、法定ビラ配布など宣伝活動で奮闘しています。



デニー知事 ゆうき事務所を激励訪問



デニー知事は「元看護師の伊礼さんならコロナ危機も乗り越えられる」と話しました。

玉城デニー知事は1月30日、伊礼ゆうき事務所を訪問、伊礼ゆうき候補に「祈り必勝」の為書きを手渡し、「必勝をめざしてがんばってほしい」と激励をしました。ゆうき候補は、「知事の激励は本当に嬉しい。頑張ります。必ず勝利します」と応えました。

日米共同使用は県民の負担軽減に反する



要請終了後、反対協の海上チームなど20人が局玄関前で「辺野古新基地の日米共同使用許さない」「工事を即時中止せよ」などと声をあげ、菅首相のお面をかぶった鬼に向かって豆まきをしました。

反対協 防衛局に工事中止を要請
へり基地反対協議会の仲本興真事務局長など代表は3日、沖縄防衛局を訪れ辺野古新基地建設工事の即時中止を要請しました。地元紙に報道された「陸上自衛隊と海兵隊による辺野古新基地の共同使用の極秘合意は、普天間飛行場の危険性除去という大義名分が崩れ、県民の負担軽減に反する」と要請したものです。防衛局側は「防衛省として日米共同使用は考えていない」と答えましたが、反対協側は「オスプレイ配備の時も【考えていない】だった。信用するわけにはいかない」と批判しました。



照屋氏の略歴

1952年具志川市(現うるま市)生まれ、68歳。日本大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学。沖縄国際大学法学部教授。

照屋寛之氏 うるま市長選へ出馬表明
「オール沖縄」から立候補要請を受けていた沖縄国際大学教授の照屋寛之氏は1月29日、うるま市内で記者会見し4月25日投票で行われるうるま市長選挙に出馬する決意を正式に表明しました。照屋氏は「37年間、政治学や行政学を研究し教えてきた。この経験と知識を生かしてうるま市の発展をめざしたい」と決意を語りました。同市長選には自民党推薦で中村正人市議も出馬を表明しており、一騎打ちの公算が大です。

【お詫び】当ニュース327号の訂正です。1カ所目は上の写真説明中、「うるま市内」を「浦添市内」に。下の見出し「3人の感染者」は「43人の感染者」です。お詫びして訂正します。